

菜の花だより

東海みなみ日本共産党後援会ニュース
No.2008の1 発行：2008年1月1日
【連絡先】東海村村松 2401-2 (284)0761(部内資料)

夢かなう年をごいっしょに

いよいよ東海村の未来をかけた村議選が始まります。大名みえ子議員は、3期目をめざして全力で奮闘しています。『ひとりのつぶやきも、村民みんなの願いも』力あわせて実現するためには、どうしてもなくてはならない議席です。

みなさんの大きなご支援で、何としても大名議員を議会に送りだしましょう！！

共産党演説会

演説会の訴えに感動！



再選を訴える大名みえ子議員

12月27日、東海文化センターで日本共産党演説会が開かれ、約110名の方々が参加しました。大名地域からはバスを出して、南台・緑ヶ丘・押延地域の皆さんが同乗したほか、川根、舟石川など各地から大勢かけつけていただきました。

演説会では、最初に川崎あつ子さんが訴えた後、大名みえ子議員が、時に声を詰まらせながら訴えました。2期8年間、皆さんに支えられながら就学前医療費の完全無料化や、障害者のサービス利用料への助成など一緒に要求を実現してきたこと、今後も後期高齢者医療制度の中止や産廃焼却施設を許さないたたかいなど、決意をこめて議案提出権のある2議席確保への支援をお願いしました。

続いて押延の藤田せつ子さんから大名さんの人柄が紹介されました。いつも強い情熱を持って骨身惜しまず頑張っている姿や、村政報告でグチのようにこぼした横断歩道や道路の段差などがすぐに実現したことなど多くのエピソードが紹介され、共感の拍手に包まれました。

国会から駆けつけた塩川てつや衆議院議員は、今の自公政権が進めてきた構造改革の実態を、グラフを使ってわかりやすく解説し、暮らしを守る共産党の値打ちをユーモアいっぱい訴えました。

初めての参加者も多く、寒さ厳しい中、皆さん上気した表情で必勝の思いを胸に帰路につきました。



川崎あつ子候補、塩川てつや衆議院議員、大名みえ子議員

大名みえ子議員の街頭宣伝に反響広がる！



大名みえ子議員は、連日街頭で政策を訴えています。その訴えに、自動車のクラクションを鳴らして声援を送る人や、農協前では女性の方が後から追いかけてきて頑張ってくださいと声をかけてくれるなど、有権者の心に響いています。

この演説の要旨が、「明るい東海」1月号号外に載っていますので、ぜひお読みください。

灯油購入への助成を緊急に申し入れました

12月28日、大名みえ子議員、川崎あつ子党村委員長、藤田邦良北部党地区委員長らは村上達也村長に対し、低所得世帯等への経済的負担を軽減するための助成を申し入れました。

渡辺政美副村長が対応してくれました。

「確かにこれほど値上がりしてしまうと大変ですね...低所得者は大変、おっしゃることは良く分かります。きちんと受け止め村長によく伝えたいと思います。予算がともなうのでどこからお金が出るか、どういう事ができるか、よく検討させていただきます。」



一回りも二回りも支持を広げて下さい。

ご協力をお願いいたします。

菜の花会の会員の皆さん、読者の皆さん、今月15日告示20日投票の村議選は定数が22名から20名に減少し、現職9名が引退し、新人9名の立候補が予定されるなど新旧交代の大激戦です。現職はみな危機感を強めています。大名議員を当選させるためには900票が必要です。(前は634票)これまで以上の支持の広がりが必要とされます。

けれども、知人友人を訪ねてお話を伺いますと「2期8年の実績があるから大丈夫だよ」と楽観的な見方が多いようです。しかし現実は大激戦を反映してか、今まで入ったことが無い他候補が多くの方の会員さんの自宅にくりかえし訪問しているなど、大変厳しい情勢です。

ぜひ皆様の知人友人にも声をかけいただき一回りも二回りも支持を広げてくださいますようお願いいたします。

* すでにお配りしてあるカードをご返送いただければ幸いです。